

生協を継続して運営していくために、理事会では、職員給与・賞与の見直しや配達料の徴収などを検討しています。でも職員の給与減は気の毒だし、配達料はイヤ！

年度末赤字見通し 1,300 万円というとかかなり大きな金額に聞こえますが、4,600 人の共同購入組合員全員が毎週もう 1 品注文をプラスしてくれたらなんとかなる金額です。

今年は国際協同組合年。協同組合を作るのは、理事・職員と組合員の皆さんです。みんなで私たちの常総生協を応援しましょう。確かに生協はちょっと高いけど、家族の健康を考えたらもう 1 品くらい追加できるかな？

毎週の注文書の提出と、もう 1 品の注文をお願いします。注文忘れても電話や FAX で受け付けていますよ。安全の確保につなげる もう 1 品を。

○まずは組合員さんへの協力要請

土浦地区理事 柴田由美子

自分が生活していく中で、常総生協を購入先の一つと選択した私たちは、実は一人一人が、その商品が家に届くまでの全ての過程と、そこに関わる人の生活を支えているのですね。

安値スーパー、ネット通販、産直 etc. 多様な選択肢がある中で、常総生協の商品を選ぶに何か理由やきっかけや、求めるものが皆さんそれぞれにあると思います。そのシステムが今、困難に直面しています。

もう一度ここで、みなさんの購入が生協を支えていることを意識して下さい！のお願いです。

他にも、「もっとこうしたら・・・」を伝えることや「運営面、ここどうなっているの？」と疑問を持つことも、大切なことかもしれません。

より確実な経営・運営のために、宅配料やカタログ代、商品価格アップ・・・も方策のひとつだけれど、その前にできることとして、組合員さんへの協力要請です。

もちろん、職員の努力も不可欠です。常総生協をもっと多くの人に知ってもらい、加わって頂けるように。生産者と組合員と職員が協働（繋がって）、輪を広げていくことで成り立つのですから。これからも、お互いの生活にとってよいものでありますよ

うに。私も、もう一品・・・を意識していきたいと思います。

○ぜひ試してみてください！

柏地区理事 松葉美穂

先月、我孫子と流山での試食会に参加させていただきました。参加された皆さん、お疲れさまでした。その後、試食会で聞いた話や食べたものが、食卓に生かされていますか？

私は、鶏肉の塩麹炒めを作ってみました。鶏むね肉一枚を一口大に切って、それをビニール袋に塩麹大さじ 1 とともに入れ、少し揉んで 30 分ぐらいおいてから、塩麹は落とさずそのままフライパンで焼きました。

油をひかずに弱火で蒸し焼きにするのがポイントだそうです。私の場合、少し塩麹が多かったのか、味が濃くなってしまったので、カブを蒸し焼きにしたものと茹でたカブの葉も入れたら、彩りもよく仕上がりました。

お肉が柔らかくて、美味しい！また作って！と家族にも好評で、簡単に作れて手抜き主婦の私も大満足！

試食会に参加し、まだ作っていない方も、残念ながら参加できなかった方も、是非試してみてください。ホントに簡単で美味しいです！もちろん、材料は常総生協で！

○総代さんと協力して おにぎりの会

つくばみらい地区理事 田口哉子

いま地域で、総代さんたちと、おにぎりの会を通じて、常総生協そのものをはじめ、商品の利用、手作りのよさを伝えるため、協力して、声かけ、レシピ作りや次回の試作品にトライするなど、活動しています。

でも、全体として利用が低迷し、いろいろな対策を講じないといけなくなっていると理事会で報告がありました。

地域での活動をいっしょうけんめい推進しながら、まず私にできることとして、我が家の予算の中で、やりくりし、1 品でも、常総生協の商品を購入できるようにと思います。

崎山さん講演会チケット申込書

常総生協も参加している「脱原発ネットワーク茨城」主催の崎山比早子さん講演会のご案内チラシを入れています。「人間は放射線を浴びてはいけない生き物」と言う崎山さんのお話を聞きます。前売りチケットは下記にて。

・・・・・・・・き り と り・・・・・・・・

12/1 崎山比早子さん「いのちを守る！～内部被ばくと食べ物～」講演会チケット申込書

(コース名) (班名) (TEL)

(組合員No.) (組合員名)

(枚数) 一般 1,000 円 枚 学生 500 円 枚 (高校生以下無料)

【ものづくり 人づくり 地域づくり】2012 年度上半期決算報告と呼びかけ

2012 年度上半期（4～9 月）決算

上半期決算 噛みしめ 協同のバランス くらしと健康

一人当利用の大幅減で、上期赤字折り返し。このままでは年度 1,400 万円の赤字に。

生協の事業とその継続を支えるのはなにより組合員の力と協同。

もういちど、生協に力寄せて！今週は決算報告とあわせて理事会より再度のお願い。

【2012 年度上半期決算概要】

1. 一人当たり利用が大きく減少。昨年より一人
週当たり 260 円の減。

2. 上半期で予定した供給高より 4,300 万円不足し、供給剰余も予定より 1,270 万円不足。
供給高： 計画比 93.3%、前年比 96.5%、
供給剰余：計画比 91.8%、前年比 95.8%

3. 人件費で予定より 59 万円超過（放射能検査等の負担増）。物件費は予定より 156 万円超過（地場産直集荷便を外部委託）。経費は合計で 215 万円の予算超過。

昨年比では放射能検査機器 2000 万円のうち初年度償却分 700 万円が増加。

4. 予定した収入が大幅に減り、経費は予算超過。収支バランスが崩れ、上半期決算は 1,995 万円の赤字で通過。

5. このままいくと年度末で 1,300 万円の赤字になってしまう。

詳細の報告と対策は中刷りで専務理事からの『上期事業報告書と対策』をご覧ください。



【緊急対策】

1. 9 月より常勤役員の給与 10% カット。
2. 10 月より職員の時間外残業規制を開始。
3. 9 月組織拡大要員の削減。
4. 東電電気料金値上げ分、支払い拒否。
5. 理事会より組合員への利用呼びかけ。
6. 予定していなかった年始特別供給の追加。

【理事会で検討している対策案】

1. 利用高に応じた「個配・配達料」の導入。
2. 毎週 900 人近い注文未提出者への対応。
3. 業務事項の大幅見直し・絞り込み・削減（放射能検査を含む）。
4. 東電原発事故損害賠償の法的請求手続き。

【今週のニュース】

(1P) 2012 年度上半期決算概要と対策（案） (2～4P) 理事会から組合員への呼びかけ

(5～6P 中刷)「2012 年度上半期事業報告書」（専務理事）(4P下) 崎山比早子さん講演会 前売りチケット申込書

【別チラシ】脱原発ネットワーク茨城主催「いのちを守る！～内部被ばくと食べ物～」崎山さん講演会案内

【上半期決算を終えて－理事から組合員へのメッセージ】

「常総にもう一品の思いやり 組合員の協同の力」

上半期決算の厳しい状況をみんなで乗り越えるために理事会としてみなさんに呼びかけます！

●生きる本分「食は生命」の協同の営みを

理事長 村井和美

思い起こせば東北大震災・原発事故からずうっと、何が何でも子どもたちを守りたいとした心意気に、学び・行動し、躍起となって諸対策に奔走してきた私たちの組合があります。こんなにも一丸となって健康を案じ、組合員同士、地域の人々が繋がり合い心を寄せ合ったことがあったかと、ことの顛末を誇らし気に思っていた矢先、私たちの上半期決算の実情があります。

片や、社会的背景はますますの経済優先、命軽視の風潮が、また、人との関わりの薄れが見えます。必然、協同組合とて例外ではないでしょう。ここに関わりここに集う、すべての一人一人が緊急的、長期的に、何をどうしたらいいかを考える一石が投げられることで、早期回復への手立てが生まれると確信します。

そこで、忘れられがちなことを掲げてみます。

- ・生協が生協であるための情報共有と約束事の再確認。
 - ・生協ならではの運営、参画、利用の特性に触れ、学び、活かし、それらを広報する。
 - ・職員間と組合員間の連携で有用な事業展開を。
 - ・組合員と職員相互の意識・認識不一致事項の確認と是正。
 - ・求めること、求められていることの相互理解、納得、確認等々・・
- あなたはいかがですか？

生きる本分「食は生命」の営みを、協同の力で繋げ広げていきましょう。支え合い、共に生きることの素晴らしさ力強さを実感し、伝えていきましょう。

○健康と経済性は「くらし方」次第

副理事長 大石光伸

この10年来、「上半期」は黒字で折り返していた生協経営でしたが、今年上半期を赤字で通過は初めての経験です。このまま利用の低減が続くと年次の決算も1,300万円近い赤字になるというたいへん厳しい状況です。

組合員のみなさん一人一人の利用が昨年に比べて週当たり260円も落ちてしまっています。

これは生協全体で上半期だけでも4,300万円の供給高の減少となり、そのまま1,200万円の利益が減ることを意味します。

職員の給与や物件費などの費用はほぼ固定的な経費です。少なくとも昨年震災原発事故の年と同様の

利用さえあれば十分利益が出て、業務の一層の充実と人材の育成、そして将来に向けての積み立てができるはずでした。

原発事故以来、理事会は「組合を上げて総力で子どもたちを守ること」を事業の最重要・最優先課題としてきました。食品の放射能も、家族が口にするものである以上、わからないとか、国の基準にお任せではなく、力を尽くして一つひとつを検査して結果を公表するよう職員に指示しました。

しかし、正直に調べて公開すればするほど利用が低減し、もしかして、他で購入されているかもしれないとしたら、なんと皮肉で悲しいことでしょう。

たしかに「もう、考えたくない」というのが世の風潮です。そして「放射能の事はできるだけ避けて通って触れないでおくのが得策だ」というのが大手の経営者の言です。

しかし、もう考えるのもいやになって、気を緩めた途端、食品からの放射能摂取量がグッと上がって数年後に体内被ばくの再ピークが表れたのがチェルノブイリの歴史の教訓です。今がとても大事なのです。

この事態に、専務理事の方では職員の冬期賞与カットか残業の削減かが検討されているようですが、職員だけに責任を押しつけるわけにはゆきません。ただでさえ放射能対策でプラスαの仕事が増えています。もちろん職員は仕事のスキルを上げ、効率良く働く日々の努力をして下さい。

しかし、協同組合の主役は組合員消費者、生産者、職員の協同の力にあります。

これまでたくさんの困難があっても常総生協はみんなが力をあわせて乗り越えてきました。

昨年来、子どもを守るための家庭での努力、食材の選択、そして地域での組合員の活動、行動は常総生協の誇りです。これぞ常総組合員です。

この力をぜひ生協利用にも寄せてください。

常総生協の食材は、一見高そうですが、価格以上の栄養の価値があります。それは何よりおいしいこと、味わい深い（滋味）ことが示しています。

食材の購入は必要なものを生協一本で購入するとムダな買い物がなくなり、結局家計も経済的になります。「安心で健康で経済的なくらし」をみんなで工夫することは組合の最重要テーマです。それは一品一品の高い安いよりも、私たちの「暮らし方」「工夫」次第です。

どうか組合員のみなさん！私たち自身の安心の暮らしの「砦」として常総生協に結集し、みんなの力で乗り越えましょう。

○明るい顔が早く見られますように

牛久地区理事 小松田文子

10年の長さをかけて毎年利益を出して過去の赤字を解消することが出来たのに、震災・放射能汚染により赤字を再び背負うこととなりました（ゲルマニウム半導体などの放射能検査に必要な機器や、放射能のために商品供給を停止したことによる逸失利益を東京電力に請求するもゼロ回答）。

色々な解決策が理事会で話し合われましたが、職員のボーナスカットは仕事への士気を削いでしまうものです。

一般スーパーでは国の基準で100ベクレル以下が流通していますが、ではいざ何ベクレルなのかはまったくわかりません。

徹底した放射能検査により常総生協の品物は安心して食することができたのは組合員として感謝です。ありがたいと思うだけでなく、今行動に移していこうではありませんか。大変きびしい折りですが、組合が打ち出している1品運動ではなく、2品運動へと発展させ、組合員、職員、役員の明るい顔が少しでも早く見られますよう支援と協力のほどお願いいたします。

○無理のない形で週にあと一品手作りを

守谷地区理事 野口由美子

組合員の皆様、いつも常総をご利用、また様々なご協力ありがとうございます。

ご報告の通り、当生協は今期上半期、大きな赤字を計上してしまいました。このままですと、業務やサービスを縮小したり、活動を抑制したり、皆様にご迷惑をかけることになってしまいます。

組合員の皆様には、無理のない形で、週にあと一品、おかずやおやつを手作りしていただき、常総生協の商品を利用していただけたらと思います。またこのようにしたら買いやすいとか、利用しやすいなど…ご意見がございましたら、ぜひアイデアを教えてくださいたいと思います。

ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

○想いめぐらせて 気が付いたこと

龍ヶ崎地区理事 加藤理子

子どもが小さい頃には大変お世話になった方が「本物を作っている人達を、みんなが応援すれば、世の中良くなるよね。」と話していたことがあります。

私はとてもその言葉が心に沁みてずっと頭の中にあっただのですが、日々の生活であまり実践できていませんでした（家計のために、1円でも安い物を求める日々だったように思います・・・）。

常総生協に加入した時に、私は「生協って欲しい物を届けてくれる便利なお店」と思っていました。理事となり、毎月の理事会での話や、いろいろな催し物に参加させていただく機会が多くなり、生産者さん達のお話を伺ったり、そのお人柄に触れたりしていくうちに、常総生協には、「本物を作っている生産者さんたちが勢ぞろいしている！」ということに気が付きました。

また、昨年原発事故で放射能が降り注いでしまった後、本当にたくさんの苦悩、生産者さん達の悔しい思い、組合員の不安の声。その間でどれだけ職員さん達は走り回っているのでしょうか。

常総生協の商品は、ちょっと割高って感じることもあるけど、その一つの商品が家に届くまでにどれだけの人に関わっているでしょう。そして「関わっている方たちの生活を支える事にも繋がる」と考えると、決して割高ではないって事に気が付きます。

こういうことは、カタログだけではわからない部分ではありますが、少し想いを巡らせて、日々の生活で取り入れるものを選んでいきたいと思います。そして、常総生協を柱として、「本物を作っている人達を応援する」人達が増えて、世の中が良くなれば、いいなと思います。

○どんな味かな？

取手地区理事 名和田鶴子

今年はじめて組合員理事をさせて頂いております。10月26日の理事会で「このままでは、10年来ではじめての赤字決算になりそう」と報告がありました。

放射能の影響なのか農産物や海産物をはじめとする生協の利用が減少しています。放射能はゲルマニウム半導体検査器で精密に検査し、国の基準より安全な数値で供給しています。生産者さんは、土作りや環境づくりなど研究し安全でおいしいものを作る努力をして下さっています。職員さんは残業を極力減らす努力をされています。

私たち組合員の努力目標は「週1品プラス」して買い支えることだと思います。他で購入しているものや、まだ食べたことがないけど、どんな味かな・・・と思ったものを是非ご注文下さい（安全でおいしいものがたくさんあります）。

カタログやニュースレターには、ためになる情報が満載ですのでお読み頂き、生活に生かしていけたらいいなと思います。

「食は生命」の常総生協の安全・安心でおいしい食べ物を頂き、「放射能に負けない身体づくり」をしてゆきましょう。よろしくお願い申し上げます。

○えっ、常総生協がたいへん!?

つくば地区理事 高橋麻理

えっ、常総生協がたいへん!?! 今年度上半期の売上高は予算に比べ4,300万円（昨年に比べ2,100万円）のマイナスです。このままでは、損益分岐点に届かず赤字になりそうです。15年来の欠損をようやく解消したのに直後の赤字です。

常総生協は、他の生協に先駆けて、添加物や放射能、農薬、遺伝子組み換え食品対策など安心安全な食品の確保に努めてきました。その生協がなくなってしまうたら・・・安心安全な食品をどこで手に入る？

他のスーパーや生協は、今いち信用できない。それに、今、常総生協がなくなったら東京電力や経産省の思うツボ!?